

平成25年度 流域モニタリング一斉調査

調査河川： 沖野川

調査場所： 国道151号下流約100m

調査日時： 7月15日(月)PM19:30 ~ 3:00

調査報告書

調査主催者 新城市環境部環境課

調査団体 飛煙社

西尾 幸男

服部 光勇

1.モニタリング調査参加について、

平成23年度の災害で護岸工事を行いブロック護岸になったばかりで
去年と同じ箇所で調査した。

小さい頃はこの川でせき止めて泳いだり魚を取ったりしてよく遊んだ川
であるが、最近子供が遊ぶ姿は見たことがない。

水辺の環境や状況をもても遊ぶ気にもならない状況で、川が小さくなった
ような気がする。

この調査の参加事情は人様々と思うが、自分にとって昔を思い出し
中々面白いものであり、今後とも出来る限り調査に参加したい。

2.調査箇所、

新城市平井字藪前 地区



3.水のきれいさ(平均 3.5点)について、

水の色、におい水に浮いた油や泡、についての評価は4である。

にごりは、工事の影響が無くなったが少々濁りがみられたので評価4とした。

水の底の感触について、以前の調査箇所より上流で住宅も少ない割には少々ヌメリ感があり評価を3とした。降水量の少なさに影響されたと思う。

CODについては、 6mg/l で評価は2とした。

4.水の量(平均 2.3点)について、

流量河川断面 $A= 0.48\text{m}^2$

水面幅 $B= 2.0\text{m}$

流速 $V= 0.06\text{m/S}$

流量 $Q= 0.03\text{m}^3/\text{S}$

狭い流域面積とコンクリート護岸により、普段から水量は少ない。

今回の調査ではまとまった雨が降っていないので、流量・流速とも少ないと考える。

わき水については付近に形跡がない、よって評価できず。

5.生態系(平均 3.3点)について、

魚の様子として、かわむつ・よしのぼり等を捕獲確認。

結構生息している。

アメリカザリガニ・ジャンボタニシ等の外来種も少々だが確認した。

今まで知らなかった「シジミ」の存在が確認ができた、結構な数。

その他、石の下に棲む水生生物について、河床が砂利が主で調査箇所に石が少なく生息の確認が出来なかった。

水際・周辺の植物については、護岸が整備されているため多くの種類はないが、緑があるという程度、蛭・とんぼの生息は確認済み。

6.水辺のようす(平均 2.2点)について、

ゴミについて、気をつけて見みればビニール袋がところどころにある。
水の透視度調査では川の深さが80cmもないので斜めにして確認。

その他の調査では、水辺の利用・近づきやすさ・景観についての評価は2とした。川を散歩する人や環境活動も見られず近隣の田畑排水専用の川にみえた。

近くに人影が見られなかったので、地元民である自分の意見として散歩・レジャー・環境学習等については、皆無と言ってよい状況によって評価を1とした。

調査票

調査票を提出する際には、調査地点のわかる地図を添付してください。

グループ名	飛煙社	調査日時	25年7月15日(月) 午前11時30分		
名前	西尾 服部	調査場所	沖野川	川の幅 3.0 m	
		参加人数	2人	天気	  

水のきれいさ

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	安全できれいな水 ←————→ 利用しにくい水						
1.水の色	無色	中間	少し色がある	中間	濃い色がついている	4点	平均 3.5 点
2.水にごり	透明	中間	少しにごっている	中間	とてもにごっている	4点	
3.水におい	においを感じない	中間	いやなおいを少し感じる	中間	いやなおいを強く感じる	4点	
4.水に浮いた油や泡	泡はない 油のまきはなし	中間	泡が少しある 油のまきが少しある	中間	泡が多い 油のまきが多い	4点	
5.水の底の感じ	心地よい	中間	ちょっとヌルヌルしている	中間	ヌルヌルして気持ちわるい	3点	
6.CODパックテスト [®] 調査 mg/l	2mg/l以下	3mg/l以下	5mg/l以下	8mg/l以下	8mg/lをこえる	2点	

6.0

水の量

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	十分な流れがある ←————→ 流れがほとんどない						
1.流れのはやさ	水面に波があるような流れがある	中間	水面は波がないがはっきり流れているとわかる	中間	流れがほとんどない	3点	平均 2.3 点
2.流れの変化	瀬・淵・ワンドなど多様な流れがある	中間	流れに変化がある	中間	流れに変化がない	2点	
3.わき水のようす ^{※1}	以前と変わらない水量のわき水(湧水)がある	中間	少ないけどわき水(湧水)がある	中間	わき水(湧水)がなくなった	2点	
4.川の深さ	60cm以上	40cm~60cm	20cm~40cm	10cm~20cm	10cm未満	3点	
5.川の流れの速さ	60cm/秒以上	40cm/秒~60cm/秒	20cm/秒~40cm/秒	10cm/秒~20cm/秒	10cm/秒未満	1点	

備考 ※気づいたことがあれば、記入してください。

注) 水の量の評点は、河川の源流域、河口部などや、湖沼、ため池、海では使用しない。
 評点の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。
 ※1: 湧水が過去に確認されている場合のみ使用。

せいたいけい
生態系

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	生物が豊かな水環境 ← 生物がいる水環境 → 生物がほとんどいない水環境						
1.魚のようす	たくさんいる	中間	たまに見かける	中間	魚がない	5点	平均 3.3点
2.水ぎわの植物	いろいろな植物が多くはえている	中間	植物がはえている	中間	植物はない	2点	
3.周辺の植物	木が多くはえている	中間	緑がある	中間	緑はない	2点	
4.周辺の生き物	いろいろな種類の生き物がいる	中間	たまに生き物を見る	中間	生き物はない	4点	
5.外来種	いない	少ない	やや多い	多い	外来種しかない	3点	
6.水質 (生き物による水の きれいさの階級)	I	II	III	IV	何もいない	4点	

みすべ
水辺のようす

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点	
	5	4	3	2	1			
	快適な水辺(積極的に活用したい水) ← 水辺を活用できる程度 → 不快な水辺							
1.ごみ	ごみがない	中間	ごみがところどころある	中間	ごみが多い	3点	平均 2.2点	
2.水辺の利用	水のまわりや中で遊びたい	中間	ながめたりさんぽをしたい	中間	近づきたくない	2点		
3.水辺への 近づきやすさ ※2	どこからでも水辺に近づける	中間	水辺に近づけるところがある	中間	近づけない	2点		
4.水辺の自然度 ※3	緑が多く自然が豊か	中間	緑はある	中間	人工的な水辺	3点		
5.水辺の景観	全体が調和していてここちがよい	中間	調和していないところもある	中間	まわりの風景とうまく調和していない	3点		
ヒアリング調査	6.散歩・レジャー	多くの人に毎日のように利用されている	中間	ときどき利用されている	中間	利用されていない		1点
	7.環境学習	多くの人に利用されている	中間	ときどき利用されている	中間	利用されていない		1点
	8.環境保全活動	多くの人が活動している	中間	ときどき活動している人がいる	中間	活動している人がいない		1点
9.透視度	80cm以上	60cm~80cm	40cm~60cm	20cm~40cm	20cm以下	4点		

選択項目数

※特に重要と考える調査項目を選択

選択項目点数

点

備考 ※気づいたことがあれば、記入してください。

注) 評点の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。

※2、※3: 相反する評価となる可能性がある。



沖野川

7月15日

上流方向

P230037



下流方向

P230037



CODパケットテスト

6mg/Lipmli

P230038

沖野川

